

しんめいばら

回 覧

第 118 号
2015.2.16

定期整備!

二月一日(日) 会員十三名の参加により定期整備を行いました。今回は三月一日に子供会と共催で行う公園整備の準備の一環として、北側円形花壇への用土や肥料を入れる作業を行いました。大きく、高く伸びた木の周辺を利用した花壇で植栽場所一面に細かい根が張り詰め、手作業では土の攪拌が困難なため、耕耘機を使い何とか植栽可能な花壇の準備ができました。二月七日には中央や南側の円形花壇にビオラの補植が行われ、公園も少し明るさが増してきました。



根が張って作業に時間が!



生放送で緊張の瞬間!

ラジオ生中継!

一月二十六日(月) 県グリーンバンクの依頼により、「高松神明原公園愛護会」の紹介がFM放送Kmixの「つご☆ラジ」という番組で生中継されました。会設立の目的や日頃の活動、地域との連携、今後の活動への期待などをQ&Aで進行し、三分程度の短い時間でしたが、初めてのことであり、原稿の準備や公園でのリハーサルも入念に行われ、なんとか無事に放送を終了することができました。

豆知識!

「一陽来福」

「いちようらいふく。」「陰が極まって陽が帰って来ること。」「冬が去り、春が来ることともいいます。植物のタネには冬の寒さに当たることで発芽が促されるものがあります。寒さに当たって発芽する、これは芽を眠りから覚ます現象で『休眠打破(きゅうみんだは)』といいます。また、木々は春に芽を出しますが前年の秋から新しい枝葉の芽や花芽ができているものがあります。厳しい冬の間は殻に閉じこもっていますが一月、二月ごろからその芽をふくらませます。梅、黄梅(おうばい)、連翹(れんぎょう)、梅、桃、桜、山吹が次々と咲き、山笑うの春がきて、まさに一陽来福という感じがします。



休眠打破を感じさせる紅梅の花芽!

今日の公園!



霜にも負けず!

お知らせ!

- 三月の公園整備は一日(日)で子供会と共催で街路の清掃や、花壇への花苗植栽などを行います。
 - 三月の回収、ピン・缶は二十四日(火)、古紙は二十二日(日)です。
 - 高松神明原公園愛護会は公園の美化活動に取り組んでいます。どなたでも入会が出来ます。ご都合がよい日だけの参加で結構ですので楽しい活動にぜひご参加下さい。
- 連絡先・二三七五二八一 山本まで